

(5)急性心筋梗塞患者における退院時アスピリンあるいは硫酸クロピドグレル処方率

分子：分母のうち、退院時処方アスピリンあるいは硫酸クロピドグレルが処方された患者数

分母：「急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞（DPC コード：050030）」の退院患者数。ただし、以下の場合を除外する。

- ・退院時転帰が死亡であった患者
- ・退院先が「他院へ転院（入院）した場合」あるいは「その他(介護老人保健施設、介護老人福祉施設等への転所)」に該当する患者
- ・Killip 分類が「Class4」であった患者
- ・入院時に既にアスピリンあるいは硫酸クロピドグレルを服用中の患者

収集期間： 250床以上 DPC 病院：平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月
250床未満 DPC 病院：平成 24 年 7 月～平成 25 年 3 月

急性心筋梗塞は心臓に血液を送っている冠動脈が動脈硬化等によって細くなり、それが血栓などで詰まってしまうことによって、心筋が壊死してしまう疾患です。ポンプ機能の低下あるいは併存症である不整脈などによって死にいたることもある重篤な疾患です。

急性期の治療後は再梗塞を予防するために、血栓の形成抑制効果のあるアスピリンあるいは硫酸クロピドグレルを処方することがガイドライン等で推奨されています。

指標 16：急性心筋梗塞患者における退院時アスピリンあるいは硫酸クロピドグレル処方率

医療機関コード	医療機関名	母数	分子	割合
060113656	済生会山形済生病院	20	16	80.0%
070116989	福島総合病院	18	17	94.4%
080110205	水戸済生会総合病院	84	78	92.9%
080810663	龍ヶ崎済生会病院	20	11	55.0%
096210115	済生会宇都宮病院	199	194	97.5%
100110144	済生会前橋病院	33	27	81.8%
110201350	済生会川口総合病院	48	41	85.4%
111101922	済生会栗橋病院	100	95	95.0%
120210971	済生会習志野病院	61	58	95.1%
130314757	済生会中央病院	90	85	94.4%
140105122	済生会横浜市東部病院	117	114	97.4%
143103439	済生会横浜市南部病院	65	63	96.9%
150120734	済生会新潟第二病院	18	15	83.3%
160115667	済生会富山病院	44	34	77.3%
180118909	福井県済生会病院	27	25	92.6%
224160042	静岡済生会総合病院	40	38	95.0%
240705053	済生会松阪総合病院	24	21	87.5%
251200194	済生会滋賀県病院	39	39	100.0%
269700129	済生会京都府病院	14	14	100.0%
271607149	済生会千里病院	97	92	94.8%
272701586	済生会泉尾病院	32	27	84.4%
274205628	済生会茨木病院	16	15	93.8%
274406135	済生会野江病院	61	61	100.0%
279600070	済生会中津病院	45	43	95.6%
279600153	済生会吹田病院	44	41	93.2%
285001538	済生会兵庫県病院	16	16	100.0%
300112641	和歌山病院	22	19	86.4%
343111190	済生会広島病院	11	9	81.8%
350116357	済生会下関総合病院	61	46	75.4%
350310141	済生会山口総合病院	71	67	94.4%
380110282	松山病院	12	11	91.7%
380228159	今治病院	23	22	95.7%
380628143	西条病院	14	9	64.3%
401119189	済生会福岡病院	78	75	96.2%
401719020	済生会二日市病院	55	50	90.9%
419810713	唐津病院	25	21	84.0%
438211911	済生会熊本病院	166	158	95.2%
440411500	日田病院	13	11	84.6%
	合計	1956	1803	92.2%

*分母が 10 症例未満の病院数：9

指標 16：急性心筋梗塞患者における退院時アスピリンあるいは硫酸クロピドグレル処方率

